

躍されておられる数々の著名な方々にお越しいただき、貴重なご講演をいただきました。招待講演では、第1日目に京セラ名誉会長の稲盛和夫先生にご講演いただきました。「なぜ医療に哲学が必要か」と題し、その数多くの著書や講演で馴染みとなった経営哲学(=フィロソフィ)やアメーバ経営の思想を織り交ぜ、日本における病院経営の課題に切り込んでいただきました。特に経営幹部、管理者の方々のご参加の多い本学術総会では、多くの方々にとって非常に興味関心のある内容だったのではないのでしょうか。JALの経営改善などは記憶に新しい逸話であります。病院経営においても必要な「全員参加経営」の重要性を、改めてご教示いただきました。

2日目には、京都大原の三千院より、門主の堀澤祖門先生にお越しいただきました。少し難解な般若心教の言葉を引用しつつも、「枠を破る」という表現を用いて人類の「真の自由」「真の平和」に言及されました。まさに、“変わってはいけない”本質的な問題を取り上げていただいたご講演だったように思います。

3つ目の招待講演は、作家の百田尚樹先生に「日本人の誇り」と題して、ご講演いただきました。ベストセラー小説の『永遠の0』や『海賊と呼ばれた男』から、昔の日本人の持っていた心と、後世に伝えなければならない、日本人の心が失われてしまわないようにとの信念からの、バイタリティ溢れるご講演でした。聴講に集まった多くの参加者の皆様に、百田先生の熱意と人柄が響いた機会となったのではないのでしょうか。

特別講演では、大阪保健福祉専門学校の副学校長であり、この日本医療マネジメント学会の大阪支部支部長でもある豊田 百合子先生に、「チーム医療の課題～看護と介護の連携教育に見るケア～」と題してご講演いただきました。教育者であり、また看護の現場で培ったご経験も踏まえ、各職種の専門性が重要であるのと同時に、お互いが連携を図るための基礎的能力の必要性をお話しいただきました。“ケア”が本来持つ意味を問いかけ、将来のリーダーに期待とエールを送るご講演でもあったように感じます。



開会式  
会長挨拶



会場風景

2つ目の特別講演では、日本尊厳死協会理事長の岩尾 総一郎先生にご講演いただきました。「安らかな看取りを阻むもの～日本における現状と法制化～」と題した講演では、まさに人間の本質である生と死、命の尊厳について、さまざまな見地からお話しいただきました。これから我々が迎える高齢化社会において、死をどのように迎えるかは大きな社会問題であり、考えておかなければならない問題であることを示していただきました。

3つ目には、厚生労働省より、佐々木 昌弘先生をお迎えしました。医政局地域医療対策課医師確保等地域医療対策室長としてご活躍中で、まさに激動の最中にある医療制度改革の核心に触れ、「医療法改正から1年、これからの医療」と題したご講演の中で、地域包括ケアシステムや地域医療構想(ビジョン)について言及していただきました。我々が決して避けては通れない2025年問題を控え、改めて法改正に見られる医療政策の方向性を確認する有意義な機会となりました。

教育講演では、トーマスアンドチカライシ株式会社代表取締役の力石寛夫先生にご講演いただき、「医療産業からホスピタリティ産業へ」と題して、おもてなしの精神(=ホスピタリティ)の重要性に触れていただきました。医療技術の革新だけではなく、心の成長も不可欠であるというご教示は、日々多忙な中で過ごす我々医療従事者にとって改めて自らを省みる良い機会になったのではないのでしょうか。

学術総会の最後には市民公開講座として、女優であり、またユニセフの親善大使としてもご活躍の黒柳徹子先生にお話いただきました。世界各地で目にし、体験されたことや、コミュニケーションの“コツ”についてユーモアたっぷりにご紹介いただき、会の最後にふさわしい華を添えて頂きました。

今回は、通常のランチョンセミナーと、第16回学術総会にて開催されたティータイムセミナー、モーニングセミナーを見習って、さらには1日目の夕方にイブニングセミナーも企画しました。どのセミナーも趣向を凝らした内容となり、いずれも満席になるなど大変盛況の内に終えることができました。

また、学術総会初日の晩は、隣接するリーガロイヤルホテルにて懇親会を開催しました。遠方からも多くの方々にお越しいただいたこの機会に、少しでも大阪らしさを味わっていただきたいと思い、3組のお笑い芸人によるイベントを企画いたしました。“粉もん”の代表でもあるたこ焼きやお好み焼きなどをはじめ、日本酒やワインも大阪にこだわってご用意させていただきました。学術総会とは少し異なる雰囲気の中、良い気分転換としてお過ごしいただけたのではないかと思います。

最後になりましたが、本学術総会の開催に際し、企画から運営に至るまで、学会役員の皆様をはじめとし